

## 6. 花崗岩の鉱物種による測定への影響

### (1) 概要

レーザ変位計 LK-G30 を用いて花崗岩表面との距離の測定をした場合、測定が不安定になることがある。この不安定になる要因は花崗岩に含まれている鉱物種によるものではないかと思われる。したがって、測定不安定になる位置の岩種と再現性の確認をする。

### (2) 測定方法

測定の状況図を図 6-1 および図 6-2 に示した。図に示したように、レーザ変位計を回転させながら、水で塗らした湿潤状態の花崗岩を測定した。レーザ変位計と花崗岩の位置が約 21mm の幅を測定した。



図 6-1 測定状況図 1

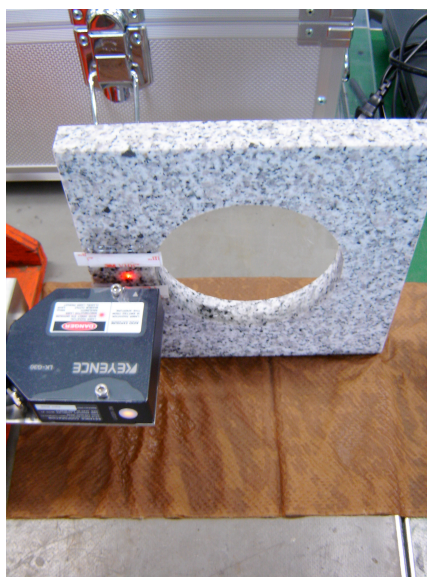


図 6-2 測定状況図 2

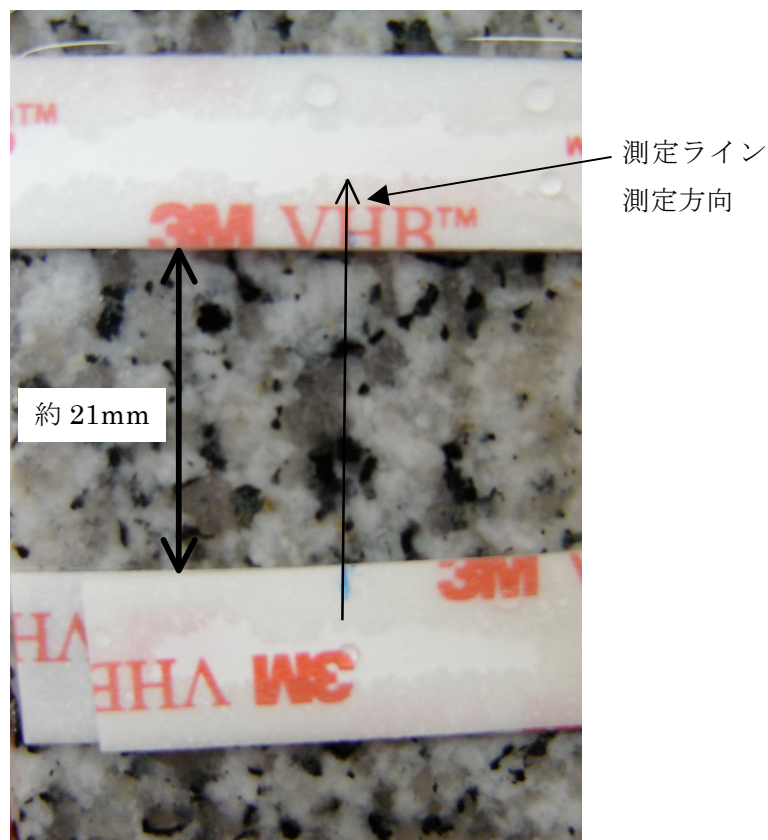


図 6-3 測定状況図 3

(3) 測定条件

レーザ変位計の光量調整の設定を MANUAL, ABLE 調整の値を 1-99 とし光量最大の設定で測定した。

表 6-1 測定条件

レーザ変位計	回転 (約 6rpm)
レーザ変位計設定	アラーム処理 (回数 0, レベル 0), 光量調整 ABLE1-99, 移動平均 1, その他は DEFAULT 設定
測定対象物設定	標準, 半透明
レーザ変位計取付角度	0°
プリズム/スリット	あり
測定対象物	湿潤花崗岩
データ測定間隔	200 $\mu$ sec
測定データ数	40000
測定回数	5 回以上